



京丹後に棲む
絶滅危惧種のハヤブサ

2023. 9. 18

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

基地をめぐる状況

京丹後訪問

池田 たかね

■ 米軍 X バンドレーダー基地の強化をもたらす日米韓軍事協力

8月18日に米国・キャンプデービッドで開催された日米韓首脳会談は、「日米同盟及び米韓同盟の戦略的連携を強化し、日米韓の安全保障協力を新たな高みへと引き上げる」と宣言しました。実質的な三国軍事同盟の形成に向けた動きです。中国との競合・対抗を背景に、その射程は朝鮮半島のみならず、台湾海峡をも含みます。その下で、このかん進められてきた日米韓の三国合同軍事演習の定期化やレーダー情報の即時共有などがあらためて打ち出されました。

日米韓の軍事協力の強化は、京丹後の米軍 X バンドレーダー基地の機能強化やイージス艦が配備された自衛隊舞鶴基地の強化に直結します。京丹後では今、日米共同訓練の拡大・強化、基地周辺の監視体制の強化、土地利用規制法の下での特別注視区域への指定に向けた動きが進み、舞鶴ではイージス艦への巡航ミサイル・トマホークの配備や司令部の地下要塞化など基地強化が狙われています。東アジアの軍事緊張を拡大させる米軍 X バンドレーダー基地の危険な役割はますます鮮明になっています。日本の朝鮮植民地支配の居直りの上に、日米韓の軍事協力、戦争体制づくりを進める岸田政権と対決し、大軍拡・大增税を止めましょう。

■ 米軍関係者の事故情報はただちに開示を

昨年11月に京丹後市網野町で起こった米軍関係車両による人身事故について、防衛省は当初これを「軽微な物損事故」と報告し、事実を隠ぺいしようとしていました。防衛省は後に「受け身の対応だった」と謝罪し、再発防止を図るとして今年1月に「交通安全対策推進チーム」を発足させました。しかし、問題は続いています。

6月26日には丹後町竹野で米軍関係者と民間人の車両同士の事故が発生しました。翌日に防衛局から「事故によるけが人が発生している模様」との一報が京丹後市・京都府にあったようですが、しかし防衛局はその後、「調査中」として事故内容を明らかにせず、「双方の当事者にけがはないこと」が京丹後市に報告されたのは、10日が経った7月6日のことでした。「交通安全対策推進チーム」は十分に機能したのでしょうか？

米軍関係者の交通事故に関する現在の「公表ルール」では、人身事故や酒気帯び運転など防衛省が重大だと判断するもの以外は、3ヶ月に一回ほどの安全安心連絡会議の際にしか報告されません。結果として物損事故だったとしてもひとつ間違えば重大事故につながるものもあります。現在の「公表ルール」はまったく不十分です。私たちは防衛省に対して、人身事故、物損事故にかかわらず米軍関係者による交通事故のすみやかで全面的な開示を求めます。

■ 京丹後市9月定例議会

京丹後市の9月定例議会が開催されています。14日の永井友昭さんの一般質問では、土地利用規制法に関する国の動き、6月26日の米軍関係者の交通事故の件、基地周辺の海域での水質調査の結果について、米軍基地・自衛隊基地でのPFASを含む消火剤の使用や保管の状況などがあげられています。これら、とくに沖縄をはじめ全国の米軍基地・自衛隊基地周辺で問題となっているPFASを含む消火剤の保管の有無について、京丹後市の応答を含めて次の機会に報告したいと思います。

京丹後現地訪問案内

9/25 (月)、10/10 (火)、10/25 (水)

午前8時30分、鴨川五条大橋西詰 GS 前集合

*参加を予定する方は事前連絡をお願いします。

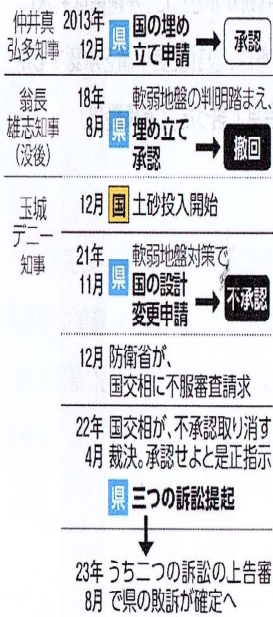
(池田: 090-7108-5508)



大湾 宗則

9月4日、この日は奇しくも1995年の米兵による少女レイプ事件から28年目の日であった。「是正措置」を巡る訴訟の最高裁判所の県敗訴の判決は要約すると以下のとおりである。

辺野古移設の主な経緯



「三権独立」は近代の遺物か?

現代は行政権の肥大化と「独裁」か!

防衛省は、北側の海域で見つかった軟弱地盤改良するため、水深(90mまで軟弱地盤だが改良能力がなく)70mの改良に7万余本の砂杭を打ち込むなどの追加工事が必要だとして県に設計変更を申請した。

これに対し県は、2021年11月、「地盤の安定性などの検討が不十分」などとして不承認とした。

この県の措置は当然だった。なぜなら軟弱地盤の最深部は図1のB27地点だが、そこは調査せず、防衛省(が委託した業者)が調査した地点は、

B58、S20、S3の三地点。軟弱地盤の核心を外した調査に県が不承認したのは正当であった。

これに対して国土交通省は22年4月、地方自治法に基づき、県の不承認を取り消す「採決」をし、従わない県に承認を求める「是正措置」を出した。県は直ちに国の不当な「採決」「是正措置」の取り消しの訴訟を起こしたが、福岡高裁那覇支部はいずれも認めず、県は上告したが最高裁第一小法廷は「採決」について8月24日付の決定で県の上告を却下した。

残る「是正措置」について(最高裁第一小法廷)は9月4日、県敗訴の判決を下した。

理由として最高裁は、埋め立て承認のような、国の業務を自治体が代わりに担う「法定受託事務」で県の不承認を取り消す国の「裁決」後も同じ理由で承認を拒むことが許されるならば「紛争の迅速な解決が困難になる」と述べ、知事は「採決の趣旨に従う義務を負う」とした。

その上で、県の対応は地方自治法に違反しており、違反を正すための国の是正措置は適法だと結論付けた。

この最高裁の言い分は憲法に則る法治主義ではなく、権力に忖度する政治的判決である。

自民党政治・「空約束」と裏切り

辺野古は如何にして埋め立て承認を奪われたか?

そもそも辺野古新基地建設は、1995年の米海兵隊員3人による少女レイプ事件に抗して沖縄県民の怒りが決起し、日米安保体制を揺るがす危険を感じた日米両政府が、「普天間の5~7年以内の返還」を持ち出して県民を慰撫し、その後 SACO 最終報告書で普天間の代替として(1960年代後半、ベトナム戦時のころから目をつけていた)辺野古に新基地建設を強要してきたことに始まる。

これに対して名護市民は1997年12月、市民投票で No! を突き付けたが、翌年の市長選で自民党が推す岸本建男氏に敗れ、1999年、岸本建男市長は、①基地使用期限15年 ②地位協定改善 ③基地使用協定の締結 ④環境への配慮等7条件が認められるなら新基地建設を認めると政府に応えた。この趣旨に軍民共用を加えて当時の稲嶺恵一知事も了とした。

政府は直ちに名護市と了解した「使用期限は米国と話し合う、使用協定は建設後使用開始前までに締結する」と付記して閣議決定した。

しかし、2005年から2006年にかけて米軍のゲーム移転を含む大規模な米軍再編が始まり、

それに合わせて 2006 年 5 月、日米合意に沿った辺野古新基地建設に関する閣議決定のやり直しが行われ、使用期限の協議も使用協定も削除され、1999 年の閣議決定は廃止された。

岸本市長が掲げた容認の為の条件は廃止され、基地建設容認だけが自民党政権の手に残った。そして「了解事項」を盾に突き進んだ。

又、防衛省が県の辺野古埋立て設計変更不承認に対してとった政府側の行為こそ違法である。なぜなら、行政不服審査申請権は、行政(国家や自治体)から不当な処分を受けた民間人の救済制度であり、これを防衛局が私人に成りすまして閣内の国交省に持ち込み、国交省が認めて採決し、県に是正措置した。こんなデタラメで違法な法解釈は絶対に認めてはならない。

「辺野古が唯一」を貫く違法な沖縄防衛局の「成りすまし」を認めた国交省が適法で県が違法という最高裁の判決は不服従の闘いで辺野古埋立て阻止を継続し糾弾しなければならない。

基地と原発…国策に見る政府の常道手法 空手形と約束破り、金のバラマキ 脅し(村八分)

安心・安全の嘘 お国のため・防衛のため

こんなことは辺野古だけのことではない。今、進められている沖縄先島「南西諸島」への自衛隊配備と敵基地攻撃可能な兵器装備の配備もやり方は同じである。

宮古でも

宮古の自衛隊基地建設に伴う小銃や導火線、弾薬と偽った火器保管庫が巨大な盛り土で覆われた重火器弾薬庫に「化けて」作られている。

京丹後・経ヶ岬でも

地権者を脅し、土地は高値で借り上げ

10 年前の 2013 年、京丹後が狙われた。基地や原発建設が狙われるところは過疎地であり、高齢化・少子化、貧困化が進み市町村は財政赤字で「兵器や原発」でも補助金が下りるなら背に腹はかえられぬと飲み込まされている。

京丹後は西に朝鮮半島が正面にある所。米軍基地(X バンドレーダー基地)は、京丹後経ヶ岬空自駐屯地の中に建設する、それだけでは手狭だから周辺の尾和地区(自衛隊基地に売却)と袖志地区(米軍基地として防衛省が借り上げ)を行った。地権者から土地の借り上げ、買取がえげつない。通常休閑農地の借上げ単価は一反約 8,000 円。この農地を都市計画法による市街地に切り替え、一反約 8,000 円を約 37 倍の一反 30 万円借上げた。契約を躊躇するものに対しては、

「村八分」で脅し、防衛省職員と地域の保守派が戸別訪問で落としていった。

地元の地権者が契約すると京丹後市は、「地元が OK ならと議会決議」し、「京丹後市が OK ならと京都府」も「安心安全を守られなければ撤回もありうる」と強面の条件つけて OK した。

防衛省は、これで基地建設用地は確保した。

「住民不安」の要求は全てのみ込む

あれから10年、約束は一つも守られていない

次に日米両政府の住民対策だ。京丹後の米軍 X バンドレーダー基地建設で防衛省は、住民の「安心・安全」を保障する 10 の約束を行った。

その中には、米軍による女性の性的被害を避けるために、基地内に宿泊施設ができるまでは、米軍はホテル三棟借り切って集団生活し、基地との往復は地元運転手を雇ってマイクロバス通勤とし直接女性と接触することを避ける、Y ナンバー車で個別に行動しないことや他の基地周辺で行われている基地外での民間住宅を借りて地域に潜り込むことはしないなど住民が要求するほとんどは OK、事故件数も報告は、最近では重大事故に限られ、まとめて件数だけとなり、人身事故を物損事故と偽り、抗議したら慌てて対策課を設けてお茶を濁すという具合。

こうした住民対策と並行して米軍の基地建設が進み、二期工事も完成させられた。

この間、ニュース、会報、パンフを通して① X バンドレーダー基地の危険性と②基地交付金に依存した地域社会の退廃・だらくに区切りをつけ、③移住者と共に町おこしの生産復興による地域共同体を回復させ、共に基地がなくとも生活できる京丹後づくりを訴え続けてきた。まだ、目に見える成果は現れていないがやり続ける。

近畿は京丹後の日米軍基地撤去闘争を担い、 辺野古埋立て反対を全国と連帯して強化しよう!

9 月 8 日、沖縄防衛局は、軟弱地盤の埋め立てに関する発注の手続きを業者に呼び掛けた。

私たちは、沖縄及び全国の仲間とともに最高裁判決を弾劾し、代執行闘争も辞さず、引き続き辺野古埋め立て阻止のためにこれまで以上の決心と行動を奮い立たさなければならない。

辺野古埋め立て問題は、日米安保条約の問題であり日本の国内問題である。NATO と日米安保の G7 が牛耳る国連が辺野古の件で支援してくるかと錯覚してはならない。高額使って国連通いする位なら、「沖縄・日本列島ぐるみ運動」として全国行脚を取り組むべきだ。

「街なかピラ」の報告と
今後のお知らせ (文責 白井)

2023年8月の報告

第157回 8月7日(月) 出町商店街周辺 6人

<街の人の声>

- 京都に? 知らなかったという人は、まだ多い。
- 地元から来られているの? ● ロシアや中国が攻めてくる。沖縄でもシェルターを作っているし。● 大学生らしき子どもと母親の二人連れ、ピラを真剣に読んでおられた。● 熱中症気をつけてねと言いながらピラを受け取る高齢世代の女性が3人ありました。

第158回 8月24日(木) 堀川三条商店街4人

<街の人の声>

- 商店街の中の店「次からは要らん」という店が2軒あった。● どんな団体が配ってるの<60位・男性>
- 国会は機能してるのか? 前にピラを貰って基地の事を知った。よく続けておられるね<中年・女性>
- 近所をポスティングした。京都らしい路地が多い。



今後の予定です

第159回 9月12日(火) 東山三条 周辺

※ 終了しました。報告は10月号で。

第160回 9月22日(金) JR「円町」駅周辺

集合場所: JR「円町」駅前です。

第161回 10月16日(月) 竹田久保町 周辺

集合場所: 「竹田久保町」交差点の西南角

第162回 10月31日(火) 京阪「藤森」周辺

集合場所: 「京阪「藤森」駅 北出口

時間はいずれも11:00~12:00です。

無理のない体調でご参加ください。待っています。

連絡先: 090-5672-1597 (白井)

告知版

9月 例会のお知らせ

日米合同軍事演習の狙い

レゾリート・ドラゴン23に反対するために
(日米韓「三国同盟」と東アジア情勢)

おはなし 共同代表 大湾宗則さん

9月28日(木) 18:30

ひとまち交流館・京都 第3会議室

第17回 反戦・反貧困・反差別共同行動in京都

10月15日(日) 13:00 開場 14:00 開演

講演 金平茂紀さん(ジャーナリスト)

集会後デモ

入場無料 (カンパ袋が回ります。宜しく)

日米合同軍事演習

岸田政権の戦争政策を止めるため

レゾリート・ドラゴン23に反対しよう

10月17日(火) 18:30

集会とデモ

集合 16:30 京都市役所前

アピール リレートーク

デモ 京都市役所前⇒四条河原町下がる

沖縄を再び戦場にさせない県民の会 呼びかけの

沖縄県民大会

11/23(木・休日) 沖縄県 代表派遣

11/23(木・休日) 京都での連帯集会・デモ(予定)

実行委員会形式です 乞う ご協力を!

